

令和7年2月4日

荷主向け物流セミナーを開催します！

～ これからの物流の「在り方」を考える ～

物流業界においては、昨年4月から時間外労働の上限規制が適用となり、物流の停滞が懸念される中、いわゆる物流の「2024年問題」が大きな問題とされています。

この「2024年問題」は、喫緊の課題であると同時に、年々深刻化していく構造的な課題であるため継続的に対応していく必要があります、トラック事業者だけではなく、荷主企業をはじめ、サプライチェーン全体で考え、取組んでいくことが重要となります。

本セミナーは、物流業界の現状と課題、関係法令、荷主企業の物流効率化の先進事例の紹介等を通して、これからの物流の「在り方」を考える契機としていただくことを目的に関係省庁と連携して開催するものです。

1. 日 時： 令和7年3月6日（木）13:30～16:30

2. 場 所： TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホール
福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館16階

3. プログラム：

<第1部 物流をとりまく現状と関係法令について>

- ①経済産業省における物流問題に向けた取組と適切な価格転嫁について（九州経済産業局）
- ②九州における農産物物流の取組について（九州農政局）
- ③トラック事業の情勢と国土交通省の取組について（九州運輸局）
- ④物流取引公正化に向けた取組について（公正取引委員会事務総局九州事務所）

<第2部 事例発表>

- ①福岡運輸（株）、②北九州青果（株）、③（株）再春館製菓所

4. 参加者：荷主事業者 約200名

5. 主催：経済産業省九州経済産業局、農林水産省九州農政局、
国土交通省九州運輸局、公正取引委員会事務総局九州事務所

6. 取材：希望される方は別添の取材申込書により2月28日（金）17時まで
にメールにてお申し込みいただきますようお願いいたします。

運輸と観光で九州の元気を創ります

<お問い合わせ先>

九州運輸局 自動車交通部 貨物課 担当：白水（しろうず）、東（ひがし）
電話：092-472-2528





九州運輸局 自動車交通部 貨物課 行
(E-mail : qst-jikoubukamotsuka@ki.mlit.go.jp)

【2月28日（金）17：00までにお申し込みください】

取材申込書

令和7年3月6日（木）の

「荷主向け物流セミナー～これからの物流の「在り方」を考える～」の取材を申し込みます。

報道機関名 _____

ご担当者
(連絡責任者)

連絡先 _____

取材人数 _____ 名

カメラの有無 有 無 _____

※当日は、13時20分までに会場にお越しください。

※取材の際は、自社の腕章を着用願います。

※当日、発熱等の症状がある場合は、取材をご遠慮願います。

荷主向け物流セミナー

これからの物流の 在り方を考える

物流業界においては、昨年4月から時間外労働の上限規制が適用となり、物流の停滞が懸念される中、いわゆる物流の「2024年問題」が大きな問題とされています。

この「2024年問題」は、喫緊の課題であると同時に、年々深刻化していく構造的な課題であるため継続的に対応していく必要があり、トラック事業者だけでなく、荷主企業をはじめ、サプライチェーン全体で考え、取り組んでいくことが重要となります。

本セミナーは、物流業界の現状と課題、関係法令、荷主企業の物流効率化の先進事例の紹介等を通して、これからの物流の「在り方」を考える契機としていただくことを目的に関係省庁と連携して開催するものです。



令和7年 **3月6日** (木)

13:30～16:30

場所

TKPガーデンシティ
PREMIUM天神スカイホール

福岡市中央区天神1-4-1
西日本新聞会館16階

参加費

無料

定員

200名(先着)

申込期限

令和7年3月5日 12:00

申込フォーム

<https://event.event-planner.net/event/ymvbx68u>

主催：経済産業省九州経済産業局、農林水産省九州農政局、国土交通省九州運輸局、公正取引委員会事務総局九州事務所

プログラム

第1部

13:30～15:00

物流をとりまく現状と関係法令について

- 1 経済産業省における物流問題に向けた取組と適切な価格転嫁について(九州経済産業局)
- 2 九州における農産物物流の取組について(九州農政局)
- 3 トラック事業の情勢と国土交通省の取組について(九州運輸局)
- 4 物流取引公正化に向けた取組について(公正取引委員会事務総局九州事務所)
- 5 質疑応答

第2部

15:10～16:30

事例発表

- 1 福岡運輸(株)
- 2 北九州青果(株)
- 3 (株)再春館製菓所
- 4 質疑応答

